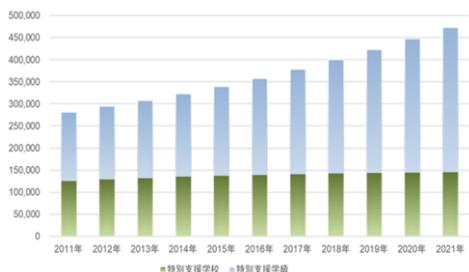


背景・目的

特別支援学校/学級 児童生徒在籍者数推移



超高齢化社会と人口減少が進む中、魅力ある街づくりや行政運営の効率化が必要です。
一方で発達障がい等、特別な教育的支援を必要とする児童生徒は年々増加傾向にあり、教育や福祉の垣根を超え、社会全体でのサポートが課題となっています。
ICTを活用した情報共有による行政・福祉・教育・医療等の効果的な連携を目的にトライアルを実施しました。

実験内容

指導者利用イメージ

スマホから簡単に
子どもの様子を登録

伸ばしたい学習項目等を
チェック項目として設定
👍の数0個～5個で評価入力

支援内容等を保護者に
随時連携



対象の児童生徒一人ひとりに合わせた、課題や伸ばしたい事項等をチェック項目として設定します。

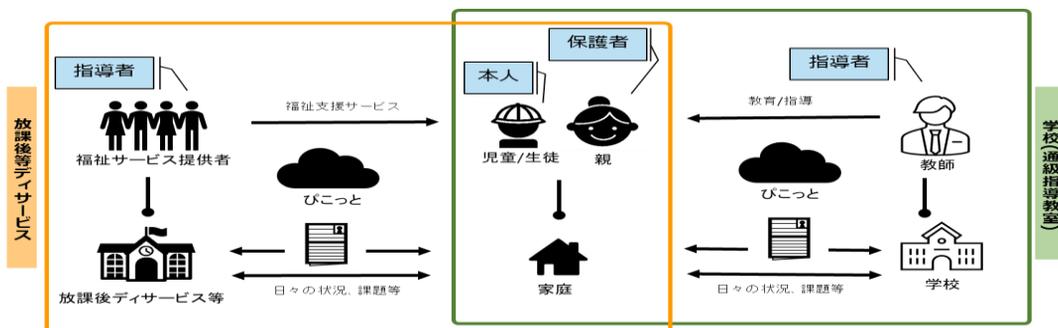
保護者と指導者等の間で、互いに日々の状況を登録/参照する事で、本人の成長度合いを共有できます。

過去のデータも適宜簡単に参照できるので、状態の正確な把握や支援見直しの負担軽減が期待できます。

本人へのコメントも登録することができ、やる気を引き出すことが可能です。

実験（検証）結果

つくば市内の小学校と放課後等デイサービス、それぞれ1施設をフィールドとして、合計10名の児童を対象に、指導者や保護者/本人が、日々の状況や課題等を情報共有しました。



今後の展望

①つくば市トライアル
(~2024/03)

②正式製品サービス
リリース
(~2024/09)

③AI等の段階的機能強化/
つくば市様への導入提案
(2024/10~)

トライアル等の成果取込み含め、並行して弊社からの正式サービス展開を準備中です。
生成AI活用等による機能強化も予定しております。
つくば市様においても導入の検討を賜りたくお願い申し上げます。